

## 人間と文化

## ヨーロッパの歴史と文化

《履修上の留意事項》 本講義は選択授業であることを忘れてはならない。「ヨーロッパ」「歴史」「社会の発展」のいずれのキーワードにも関心がなければ学生は受講を控えた方がよい。歴史を知る（憶える）のではなく、自身の中で「歴史」とは何かを考察する姿勢で臨んでもらいたい。

《担当者名》佐藤 圭史（歯）

## 【概要】

本講義は、「ヨーロッパ」の存在が、日本を含む全世界の現代文明社会の発展に如何に影響を与えたかについて理解を深めることを目的としている。現代の日本社会で必要不可欠になっている日常生活品、知識、考え方のほとんどが、実はヨーロッパで発明されたものである。と、同時に、ヨーロッパの勢力拡大に寄与したのは、アメリカ大陸や中東、アジアの存在に他ならない。各回で一つのテーマに絞り、現代から過去に遡りつつ、そのルーツをヨーロッパへと探る。社会を動かしてきた有形・無形文化が、ヨーロッパの土壌で如何に発出・醸成されてきたのかを理解する。その中で、複数の偉人が人類の進歩に与えた影響についても学ぶ。また、ヨーロッパ物質文明が現代社会に与えたメリット並びにデメリットについて考察し、歴史を学ぶことの意義と、歴史を異なる角度から分析することの重要性についても検討する。

## 【学修目標】

- ・ヨーロッパを通じ、現代文明社会の礎となった「ヒト、モノ」のルーツを理解する。
- ・歴史学とは何かを理解する。
- ・欧州史（西洋史）とは何かを理解する。
- ・ヨーロッパを通じてイスラム文明・アメリカ文明の意義と価値を理解する。
- ・科学技術発展史を概説する。
- ・文化史を概説する。
- ・適切な日本語文章表現をする。
- ・日本とヨーロッパの接点を理解する。
- ・歴史的事象を通じ世界における現代日本社会の位置づけを明確に表現する。
- ・国際的視野・思考を身につける。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	ガイダンス ・「歴史学」とは何かを説明する。 ・「ヨーロッパ」とは何かを説明する。 ・適切な日本語文章表現をする。	佐藤 圭史
2	暗号の歴史	暗号解読の歴史 ・欧州発の暗号解読が文明社会に与えた影響を説明する。 ・暗号が欧州で発展した要因を理解する。 ・暗号の成り立ちを理解する。 ・メッセージを隠す心理を理解する。 ・隠されたメッセージを解読する心理を理解する。 ・適切な日本語文章表現をする。	佐藤 圭史
3	砂糖の歴史	砂糖の歴史 ・欧州発の砂糖生産が文明社会に与えた影響を説明する。 ・砂糖が世界商品になった過程を考察する。 ・砂糖が大衆に受け入れられる心理を理解する。 ・欧州が砂糖生産を通じて世界支配に至った要因を理解する。 ・砂糖が有害なものとなる時代の変化を理解する。 ・適切な日本語文章表現をする。	佐藤 圭史
4	身体運動の歴史	身体運動（スポーツ）の歴史 ・欧州発の身体運動と思想が文明社会に与えた影響を説明する。 ・スポーツが欧州で発展した原因を理解する。 ・運動とスポーツの違いを説明する。 ・スポーツと宗教の関係を理解する。 ・適切な日本語文章表現をする。	佐藤 圭史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
5	航空機の歴史	航空機の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の航空機が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 航空機が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 航空機のアイデアの着想を理解する。</li> <li>・ 航空機の変遷を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
6	西洋画の歴史	西洋画の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の絵画が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 絵画が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 西洋画の変遷を理解する。</li> <li>・ 西洋画と宗教（キリスト教）の関係を理解する。</li> <li>・ 西洋画が現在の3D技術に与えている影響を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
7	写真・映像技術の歴史	写真・映像技術の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の写真・映像が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 写真が欧州・映像で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 欧州発の写真が現代の映像技術に与えている影響を理解する。</li> <li>・ 写真・映像技術の変遷を理解する。</li> <li>・ ヨーロッパ文明とイスラム文明の科学技術の発展における接点を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
8	地図の歴史	地図の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の地図作成技術が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 地図作成技術が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 大航海時代が地図作成技術に変化をもたらした過程を理解する。</li> <li>・ 地図作成技術の変遷を理解する。</li> <li>・ ヨーロッパ文明とイスラム文明の科学技術の発展における接点を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
9	宇宙開発の歴史	宇宙開発の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発のロケット技術が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ ロケット技術が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ ロケット技術が米ソ対立へと引き継がれ、宇宙開発技術へと発展した原因と過程を理解する。</li> <li>・ 宇宙開発技術の変遷を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
10	西洋音楽の歴史（扇動音楽編）	西洋音楽の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の楽器が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 音楽が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 欧州発の楽器の変遷を理解する。</li> <li>・ 欧州発の音楽が世界に広まった過程と原因を説明する。</li> <li>・ 西洋音楽と宗教（キリスト教）の関係を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史
11	西洋音楽の歴史（大衆音楽編）	西洋音楽の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 欧州発の楽器が文明社会に与えた影響を説明する。</li> <li>・ 音楽が欧州で発展した原因を理解する。</li> <li>・ 欧州発の楽器の変遷を理解する。</li> <li>・ 欧州発の音楽が世界に広まった過程と原因を説明する。</li> <li>・ 西洋音楽と宗教（キリスト教）の関係を理解する。</li> <li>・ 適切な日本語文章表現をする。</li> </ul>	佐藤 圭史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	本の歴史	本の歴史 ・ 欧州発の印刷技術が文明社会に与えた影響を説明する。 ・ 本、印刷技術が欧州で発展した原因を理解する。 ・ 本と文書の違いを説明する。 ・ 印刷技術の変遷を理解する。 ・ 本と宗教（キリスト教）の関係を理解する。 ・ 適切な日本文章表現をする。	佐藤 圭史
13	建築の歴史	建築の歴史 ・ 欧州発の建築技術が文明社会に与えた影響を説明する。 ・ 建築技術がギリシャ文明で発展した原因を理解する。 ・ 建築技術がローマ帝国で発展した原因を理解する。 ・ 建築技術の変遷を理解する。 ・ 建築と宗教（キリスト教）の関係を理解する。 ・ 適切な日本文章表現をする。	佐藤 圭史
14	人造人間の歴史	人造人間の歴史 ・ 人造人間の概念がヨーロッパ文明社会に与えた影響を説明する。 ・ 人造人間の概念が欧州で発展した原因を理解する。 ・ 人造人間の概念を理解する。 ・ 人造人間と宗教（キリスト教）の関係を理解する。 ・ 人造人間と錬金術・化学の関係を理解する。 ・ ユダヤ教とキリスト教の類似点と差異点を理解する。 ・ 適切な日本語文章表現をする。	佐藤 圭史
15	総論	「ヨーロッパ史（欧州史）」とは何か？ ・ 正確な「欧州史」の始まりを考察する。 ・ 通俗的な「欧州史」を批判的に考察する。 ・ 欧州発展の物質的・心理的原動力を考察する。 ・ 欧州発の社会発展モデルを批判的に考察する。 ・ 適切な日本文章表現をする。	佐藤 圭史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- ・ 期末レポート70%
- ・ 講義中に行う課題（計14回）30%

【教科書】

教科書は特に指定しない。必要に応じプリントを講義中に配布する。

【参考書】

参考書は特に指定しない。必要に応じプリントを講義中に配布する。

【備考】

受講を希望する学生には、世界史、ヨーロッパ史、ヨーロッパ文化のいずれかに関心を持つことが望まれる。

【学修の準備】

授業では、一般常識である世界史上の重要人物・重要事件に言及する。講義中は確認テストを通じて、これら事項を覚えてもらうため、各講義前に、シラバスより翌週扱うテーマについて、インターネットや書籍、世界史の教科書を参照して事前に調べておくこと（20分）。また、講義中に不明確であった点は、インターネット、書籍などの媒体を通じ確認し、学習しておくこと（20分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP1 . 心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている。

DP10 . 地域連携や外国語の学修を活かして地域の暮らしや支援に関する深い理解と異文化を理解し尊重する国際性を身につけている。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

東ヨーロッパを中心とした欧州史研究（27年）

**【実務経験を活かした教育内容】**

ヨーロッパでは、イギリス、ドイツ、ポーランド、リトアニア、ルーマニア、ウクライナ、ロシア、アルメニアなどでフィールド調査を実施してきた。文化的、経済発展的に多様性が見られるヨーロッパ諸国ではあるが、「ヨーロッパ」たりえる共通項は全ての国で見出すことが出来る。フィールドから肌で感じた欧州史を伝える講義内容である。

**【その他】**

この科目は主要授業科目に設定している